

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(都賀地域)事前質問

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	合戦場	<p>【通学区域の変更について】 質問 合戦場自治会は、旧栃木市のいちご園、堀の内、大宮平川などの自治会と隣接しており、合戦場小学校に通学した方が、現在通学区域になっている小学校よりもはるかに近く、安全なため子供たちを合戦場小学校へ通わせたいという話を聞きます。合併の効果として、通学区域の変更も考えなくてはならないと思います。多くの課題があるかと思いますが、市はどのように考え、今後どのように進めていくのかお伺いします。</p>	<p>【教育総務課】 通常の通学区域の変更については、地域の実情や教育への影響に留意しながら、個別事情を考慮し、就学校を指定するなど弾力的に対応しております。 ご質問にあります、大宮北小と合戦場小の境(東武線北側の平川、堀の内自治会周辺)、吹上小と合戦場小の境(苺園自治会周辺)は、市町合併により行政境がなくなり、通学を指定された学校より通学距離が近くなるという問題が生じた地域でありますので、通学距離による通学区域の変更については特に弾力的な運用をしており、保護者からの申請により指定校の変更をいたしますので、早めにご相談いただければと存じます。 今回のような自治会単位の通学区域の変更については、今春策定いたしました「栃木市立小中学校適正配置基本方針」でも課題として取りあげており、地域の自治会連合会長や関係自治会長からの意見聴取、さらに子ども会育成会や保護者からの意見を聴取するなど、地域の声を尊重し、子ども達にとってどこに通学するのが一番良いのかを第一に考え、積極的に取り組んでまいります。</p>	【左記回答要旨のとおり】
2	合戦場	<p>【災害時の避難所について】 質問 合戦場に隣接する旧栃木市の自治会より、現在指定されている避難所よりも合戦場小学校へ避難した方がはるかに近いので、私たちの自治会は合戦場小学校を避難所にしたいという話があり、日頃の避難訓練なども合戦場小学校区の皆さんたちと一緒にやりたいと伺いました。スムーズな避難を行うためにも地区を超えた防災訓練も必要と考えますが、市の考えをお伺いします。</p>	<p>【危機管理課】 栃木市地域防災計画には、避難所の位置とその避難所が対象とする地区名が記載されておりますが、避難をする際には、必ずその避難所でなくてはならないというものではありません。 現在、この栃木市地域防災計画の改訂を進めているところであります。その中で、避難所についても災害種別ごとの指定緊急避難場所の位置づけや、長期的に避難施設として使用する指定避難所について見直しているところであります。 さらに、旧市町にこだわらず、地形や距離等を考慮して避難の対象地区を明記し、皆さまにお知らせしていきたいと考えております。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況：一部対応 避難場所に関しましては、地域防災計画を改訂し、地震や水害などの災害種別ごとの指定緊急避難場所と指定避難所の見直しが完了いたしましたので、今後、市ホームページ等でお知らせしてまいります。 なお、避難の方法に関しては、旧市町にこだわらず、地形や距離などを考慮し、ハザードマップ等で具体的に表示してまいりたいと考えております。 また、防災訓練につきましては、市が行っているもののほかに、各地域において自主防災組織等が主となって実施しているものもあります。 自主防災組織が行う防災訓練については、単独で実施される場合が多い状況ではありますが、複数の組織が協同で実施することも可能であり、それぞれの地域の状況に応じた訓練ができますので、地域ごとにご相談いただき実施していただければと考えております。市といたしましても、出来る限りのご協力をしてまいりたいと考えております。</p>
3	合戦場	<p>【合戦場地内都市計画道路小山栃木都賀線沿線の開発について】 質問 この道路の沿線開発は合戦場自治会内においても雇用の拡大等に非常に期待を寄せているところです。特に平川升塚地区の開発は今後のこの地区の将来を大きく変える開発になると思います。昨年のおふれあいトークでも質問をいたしましたが、それから1年が経過し、現在の事業の進捗状況について伺います。また、この開発が万が一進まなかった場合、この地区については、何も行わず現状のままとなってしまうのか併せて伺います。</p>	<p>【都市計画課】 昨年度ご質問いただきました「大型商業施設の立地に関する開発行為」につきましては、昨年夏以降、開発事業者側のスケジュールや金銭面の課題、市場調査の状況等により具体的な相談をいただけていない状況であることから、今回の計画が一時凍結しているものと思われまます。 本地区は、ご承知のとおり、小山栃木都賀線沿いの開発ポテンシャルの高い地区でありますので、今後も、道路等の整備を進めるとともに、未利用地の有効利用を図り、住みよい生活環境と利便性の向上を図るため、道路と一体的な整備を行う民間等の開発を適切に誘導してまいりたいと考えております。</p>	【左記回答要旨のとおり】

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(都賀地域)事前質問

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
4	富張	<p>【避難所について】質問 赤津小学校が避難所になっていると思いますが、昨年9月の大雨で隣を流れる赤津川が危険水位となり、避難所としての機能を果たせるかとても心配いたしました。都賀地域内にはこのように避難所自体が危険な場所にあるため、避難したくてもためらう方が出てくるケースもあるのではないかと思います。市ではそれらの指定避難所の選定の見直しや避難所まで安全に避難ができるような対策を考えているのか伺います。</p>	<p>【危機管理課】 現在市では、123箇所の避難所を指定しております。その中には、河川が氾濫した際に浸水する施設や、土砂災害警戒区域等内に含まれる施設等もあります。 そこで、昨年の水害を踏まえ、現在進めている栃木市地域防災計画の改訂の中で、避難所についても災害種別ごとの指定緊急避難場所の位置づけや、長期的に避難施設として使用する指定避難所について見直しているところであります。 避難所の見直し作業の中では、旧市町の区域にこだわらず、地形や距離、避難経路の安全性等を考慮して避難の対象地区を明記していく考えであります。 さらに、避難所まで安全に避難をするために、市からは早めの避難に関する情報を発信することで安全に避難が出来るよう考えております。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況：一部対応 避難場所に関しましては、地域防災計画を改訂し、地震や水害などの災害種別ごとの指定緊急避難場所と指定避難所の見直しが完了いたしましたので、今後、市ホームページ等でお知らせしてまいります。 なお、避難の方法に関しては、旧市町にこだわらず、地形や距離などを考慮し、ハザードマップ等で具体的に表示してまいりたいと考えております。</p>
5	十文字	<p>【国道293号線の土砂崩れ対策について】質問 昨年9月11日の豪雨災害により、国道293号線脇谷・富張地区の道路が土砂崩れのため寸断されました。その後土のうが積まれたままになっていますが復旧の見通しは、いつ頃になり、どのような対策を考えているのか伺います。</p>	<p>【土木管理課・環境課】 国道293号を管理している栃木県栃木土木事務所にお問い合わせのところ、下記のとおり回答をいただきました。 国道293号の道路管理者である栃木土木事務所は、土砂崩れの応急処置として、崩落直後に大型土のうの設置を行い、土砂流出対策を施しました。 さらに平成28年7月13日には、劣化した大型土のうの積換え及び設置位置の変更が完了したことにより、歩道幅員が確保され、道路としての安全が確保されました。 崩落した土地の対策は土地所有者が行うべきものですので、構造物の設置等による再発防止対策を実施するよう、道路管理者として土地所有者に対し継続的に指導しているところであります。 市としましては栃木土木事務所と連携し、土地所有者に対して安全対策を速やかに実施するよう通知したところであり、今後もできるだけ早期対策がなされるよう、栃木土木事務所に協力してまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(都賀地域)事前質問

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
6	十文字	<p>【イノシシ対策について】 質問 現在、都賀地域では、イノシシ被害の対策として、市所有の箱ワナを19基、その他にも自治会や猟友会、ゴルフ場所有の箱ワナを設置し、猟友会の巡回により対処していると聞いております。最近、被害地域が広がり、イノシシの数も増えていることから、ネズミ取り対策のような薬剤(毒薬、睡眠薬)など使用し、駆除することができないのか伺います。 また、イノシシの侵入防止策として電気柵を設置しているのを見かけますが、時に、感電による事故などのニュースを目にすることがあります。栃木市としては、これまでに同様の事故などはなかったのでしょうか。また、安全対策は万全なのかお聞きします。</p>	<p>【都賀産業振興課】 イノシシを駆除する場合は、銃・あみ・わなによる方法が法律で認められていますが、毒薬を使用した方法は法律で禁止されています。(ネズミ取りの薬剤は、毒の強さや影響により法律で使用目的や使用方法等が定められていますので、ネズミを獲る目的での使用は出来ます。) そのため、現在のイノシシ対策としては、猟友会管理の箱わなによる捕獲が中心となりますが、本年度のイノシシ捕獲数は、過去最多だったH26年度の捕獲数を上回るペースで増えており、効果が高いものと考えております。 次に、電気柵についてですが、一般的な電気柵は、専用の装置を使って動物がケガを負うことが無いような電流を、ほんの一瞬、しかも約1秒間隔で流す安全な仕組みのものであり、さらに事故防止のために漏電遮断器や危険表示の設置などの安全対策をすることになっています。 昨年静岡県で発生した死傷事故は、設置されていたものが安全装置を使わず、逆に電圧を高めた大変危険なものであったことが原因でした。 本市では、過去にこのような事故の発生は確認されていませんが、昨年8月に本市内に設置された電気柵の調査を行い、事故につながるような危険な電気柵は設置されていないことを確認いたしました。 また、安全対策として、既設の電気柵への危険表示の設置指導や、広報紙やチラシにより電気柵の正しい利用方法の啓発を行っています。 さらに、市補助金を利用して電気柵を設置する場合は、安全な電流装置の使用に加え、漏電遮断器や危険表示等の設置を条件として定め、新たに設置される電気柵についての事故防止を図っています。 今後も、事故発生防止のため、継続して電気柵の安全対策に取り組んでまいりますので、引き続きご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

No.		質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
7	参加者	以前、都賀地域協議会では栃木市にゆかりのある偉人を紹介する偉人館を要望していたが、(仮称)文学館には、都賀町出身であり日立製作所の創設者、小平浪平氏について展示するという考えはあるのか。	文学館とは、仮称であり、施設内容については、文学者の顕彰だけではなく、栃木市にゆかりのある偉人の顕彰も行う予定です。小平浪平氏の展示についても検討してまいります。	【左記回答要旨のとおり】
8	参加者	栃木市のホームページの管理はどかが担当になるのか。ホームページが非常に使いにくいと感じる。例えば、募集のお知らせが、募集期限が過ぎた後も載っていることがある。 また、新着状況・お知らせのところは、全一覧、お知らせ、イベント、募集、RRSと分類されているが、どのような順番で決めているのか。	栃木市のホームページの管理については、シティプロモーション課が担当しています。市のホームページは合併に伴い作成し、ご指摘のとおり、今となっては少々古いものとなり、見にくい、使いにくいという声をいただいています。新着状況・お知らせのところについても、新しい情報を追加すると、一つずつ古い情報が消えてしまい、探しているものが少し前の情報であると、すでに消えてしまっていることがあり、ご指摘をいただいている。現在、見直しを検討しており、必要な情報が探しやすいホームページの更新をしていきたいと思うので、ご理解をいただきたい。	【シティプロモーション課】進捗・対応状況:一部対応 古いページや募集期限の過ぎた情報のページなど、誤解を与えるようなページにつきましては、再確認を行い削除や修正を行いました。新着情報・お知らせのページにつきましては、順番が統一されておらず、ばらばらになっていましたので、現在は公開日順とし、上から新しい情報となるよう整理をいたしました。
9	参加者	提案だが、道路の信号機について、青信号も点滅してくれると運転に余裕ができて安全ではないかと思っている。免許センターに聞いてみたところ、黄色信号の時間を長くしてほしいという要望はあるが、青信号を点滅させてほしいという要望はないと聞く。横断歩道の青信号が点滅すれば、運転中、そろそろ車道の信号が黄色に変わるとわかるが、それに加えて道路の青信号も点滅するといいいのではないかと思い、提案する。	ご提案ありがとうございます。おっしゃるとおり、横断歩道については青信号が点滅してから赤信号になる。自動車用信号についても同じことができるのか、この場ではお答えできないが、警察署の方と行き会う機会もあるので話題にしたい。	【左記回答要旨のとおり】
10	参加者	家中駅西側の、昨年まで職員駐車場として使われていた土地に人の背丈くらい草が生い茂っていたため、春頃に草刈りをお願いしたが、作業が荒く、まだ草が残っていたので、再度お願いした。その後、除草剤をまいてもらったが、6月、7月の草が生い茂る時期にはきれいにできていた。また、北側にキンモクセイが生えており、道路を曲がるとき見えにくい。カーブミラーはあるが通りづらいため、以前北西側のキンモクセイ1本は切っていただいたが、北東側のキンモクセイも切っていただきたい。	草刈り及びキンモクセイの伐採について、現場を確認し、対応させていきたい。	【道路河川整備課】進捗・対応状況:対応予定 草刈りにつきましては、現場の状況を確認しながら、その都度対応してまいります。また、キンモクセイにつきましては、北東角の1本は伐採しましたが、残りの樹木につきましては、剪定や間引きするなど対応してまいります。
11	参加者	ごみの処分について、栃木市はクリーンセンターに家庭ごみを持ち込んだ場合、有料となっていると思うが、他市の人に聞くと、宇都宮市では持っていけば無料で処分してくれるという。栃木市だけなぜ有料なのか。 宇都宮市は無料で行っていて、栃木市は有料で行っている。税金の問題もあると思うが、他市の状況を知らないことも問題である。 有料であると、その辺に捨ててしまう人が出ると思うが、どのように考えているのか。	家庭ごみをクリーンセンターに持ち込む場合について、有料とさせていただいている。どんなごみを処分するにしても経費がかかっているため、経費を公平に負担していただくために、有料とさせていただいている。なぜ他市が無料で処分しているのかは確認させていただきたいと思うが、ご理解いただきたいのは、平成28年度の予算について、ゴミの収集、焼却炉の運転等の経費で年間約18億円かかっている。その経費を賄うためにも有料とさせていただいている。他市でなぜ無料で処分しているのか、どの市町村で実施されているかについては、調べさせていただきたい。 また、事業系一般廃棄物についてはもともと有料とさせていただいているが、家庭ごみの場合について、無料にできるかどうか、他市の例も研究しながら、税金ですべて賄う方がいいのかも含めて検討したい。 粗大ごみについては、引き取り手数料をいただいている。また、家電4品目についても手数料をいただいている。通常はごみステーションに捨てると思うが、一般家庭から大量にゴミが出たときについては、クリーンセンターにお持ちいただくと思う。大量に出した場合を考え、有料となっていると思うが、なぜ有料となっているか含め、検討させていただきたい。	【環境課】進捗・対応状況:対応済 11月6日(土)14:30 都賀町公民館において、大橋自治会長と面会し、家庭からの持ち込みごみを有料としている説明を行いご理解をいただきました。 有料としている理由 一定量の家庭ごみについてはステーション収集をしており、クリーンプラザに搬入されるごみは多量ごみであることから、公平な負担をいただくため有料としている。 有料としている市 足利市、佐野市、鹿沼市、真岡市、大田原市など

[当日参加者からの質問及び要望]

No.		質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
12	参加者	<p>栃木市役所本庁舎について、2階には案内の人がいるが、本庁舎4階と立体駐車場5階の連絡通路には、案内看板が設置されていない。遠方から来た人、お年寄りの人が来庁時に分かりやすいように、案内看板を多く設置したほうがいいのか。</p>	<p>案内看板について、立体駐車場5階から本庁舎4階への連絡通路を通り、自動ドアの入り口に入って右手側に案内看板を設置している。新庁舎として開庁当初は、本庁舎4階に職員を配置し、案内をしていた。現在は行っていないが、4階にいる職員に声をかけていただければご案内させていただきます。案内看板は設置しているが、見えづらい、分かりづらい等ありましたら再度検討させていただきます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
13	参加者	<p>1か月程度前に、富張地区を流れる荒川、最終的に市内の巴波川に流れる川だが、その川に大量に魚の死骸が浮いていた。市に連絡して職員が処理してくれたが、その後の経過、原因が地元知らされていなかったのをお聞きしたい。20数年前、同じ河川で工場排水の影響により井戸の地下水が使えなくなった過去があるため、魚が死んでしまった原因を教えてください。</p> <p>死んだ魚からは何か物質は出なかったのか。 20数年前の工場排水の関係で、この地域は特に敏感になっているので、そのような事情を踏まえ対処をよろしくお聞きしたい。</p>	<p>職員が現場確認と死んだ魚の回収を行った。その時に、パッチテストによって水質検査をしたところ、基準値以内の数値であり、翌日は魚が泳いでいる状態であったため、水質は改善されたが、残念ながら原因が判明しなかった。</p> <p>水質の調査のみ行い、死んだ魚についてまでは調査をしていない。申し訳ございません。以後、配慮し対応いたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
14	参加者	<p>つがの里について、10月8日に都賀地域会議では、公園緑地課で担当しているつがの里活性化事業として市民花壇の花植えを行ったと聞いた。私自身は、以前から、草刈りや花植えのボランティア団体をつくってほしいとお願いされていた。ボランティア団体を作ろうとしたときに感じるのは、花彩祭、ハスマつり、そば祭りなどイベントが行われているが、それぞれ単独で頑張っている状態である。それがつながっていない。10月8日の花植え作業も地域会議の方だけであったが、ボランティア団体ができていれば、一緒に行うことができた。一部の方が知っているだけで、前々からつがの里を何とかしようと頑張っている人には耳に入らなかった。是非とも、つがの里の計画の時には、地元の方を入れていただいて、話し合いを行い、決めていただきたいと思う。つがの里は、一つのメインである。群馬県の川場村が発展しているが、そこよりも面積が広く、環境が素晴らしいのに、発展しないのは、つながっていない、問題の共通、共有がないからだと思う。問題の共有も含めて、地元の人と一体となって何かそういう場をつくっていただきたい。</p>	<p>おかげさまで、今年度、地域予算事業の中のつがの里活性化事業としてハスの再生プロジェクト、看板の設置、植栽等を行う予定である。つがの里については、先ほどお話があったように、つがの里は非常にいい公園だが、連絡が良くないので、どうにかしなくてはいけないという考えをもっている。そのようなことから、来年度予算につがの里の総合運動公園計画ということで、全体的にどのような公園にしたらいのか、地域の方にも参加していただき、計画を立てるので、その時にはご協力お願いしたい。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

合戦場小学校体育館

No.		質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
15	参加者	<p>私は、美術館を熱望している一人で、文化振興計画推進懇談会にも参加している。担当職員が頻繁に変わっているので意見がきちんと伝わっているか不安があるので申し上げます。基本計画の22、23ページの中央小と第一小の表記を統一してほしい。また、8、9月にあったワークショップを進行した業者が市の歴史や文化施設等を把握していなかった。主だったものは市から説明や現地見学などを行ってほしいと要望した。</p> <p>市では現在、歌麿の高精細複製画3点を無料で見られるように展示している。今度できる美術館でも、ロビーなど無料で見られるスペースに展示してほしい。</p> <p>美術館のメインは常設展示だが、栃木市は絵画の所持品が少ないと思う。美術品の購入に、市では年間200万円しか予算がない。もっと多くの予算をつけることができないか。開館までに5年あるので、そうした購入の方針を作ってもらいたい。</p> <p>美術館開館までに作品を収集できるよう、議会でも話を進めていただくことを、本日出席されている議員さんにもお願いする。</p>	<p>文化芸術館のワークショップの進行を担当した業者の市の歴史や文化施設等に関する知識が不足していたとのご指摘について、市からも資料は随時提供していたが、そのようなことになってしまったことは大変申し訳なく思う。</p> <p>今後業者には、施設の見学も含めて適切な方法で知識の習得をしてもらうよう強く要望する。地域の皆様しか知りえない情報もあるかと思うので、情報提供などご協力願いたい。</p> <p>2点目の歌麿の高精細複製画無料展示の件については、基本計画を策定中である。現在は市役所本庁舎4階に展示しているが、文化芸術館に展示場所を設けたいと考えている。おっしゃるとおり、エントランスホールなど、無料で鑑賞できる場所を考えたい。</p> <p>3点目の美術品の購入について。栃木市では現在、小さなものも含めて約2,100点の美術品を所持している。その殆どが寄贈されたコレクションである。蔵の街美術館には収蔵庫がないが、新しい美術館には収蔵庫を作成するので、より積極的な収集をすることができるようになると考えているが、予算をいきなり10倍にする、というようなことは難しい。平成26年に深川の雪が国内で発見され、栃木市が高精細複製画を作成させてもらったことはご存知だと思うが、栃木市は深川の雪をずっと探していた。探していたということは、見つかった場合には購入する運びになったかと思う。また、過去には、田中一村の奄美大島時代の作品の所有者と交渉を行っていたこともある。こういった作品を購入する場合、年間200万円の予算では全く足りない。市のコレクションにふさわしい作品が出てきた折には、現在、文化振興基金に6,100万円ほどあるので、そういったものも活用して、市ゆかりの作品を購入したいと考えている。現在、歌麿の「巴波川杭打ちの図」が現在行方不明になっており、探している。見つかった場合は、購入することで検討してまいりたい。通常の予算は、年間200万円だが、コレクションにふさわしい作品が発見された場合には、補正などで予算化し、購入を進めてまいりたいと考えているので、ご理解いただきたい。また、文化芸術館の開館に向けて、美術品の購入計画策定も考えているので、ご理解いただきたい。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
16	参加者	<p>8月に自治会あてに防災ラジオが貸与された際に、防災マップも配布された。しかし防災マップは自治会に1枚ということで、自治会公民館内にしか掲示できない。市全域の地図なので細かく、よく見えない部分もある。地域を区切って、拡大版などを各家庭に配布することはできないか。</p>	<p>防災マップについては、平成26年度に作成した冊子を全戸にお配りしている。もし、無くなってしまったということであれば、ご連絡をいただければお渡しすることも可能である。こちらの冊子は、マップと比べると少し大きく表示されているので、見やすいかと思う。</p> <p>今後は、今年度末に、内水の氾濫を含めた浸水想定区域の見直しを行った新たなマップの作製を予定している。完成後、改めて全戸に配布したいと考えている。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
17	参加者	<p>自治会のゴミステーション付近の会社のコンクリート塀にヒビが入っており、危ないから持ち主の方に安全配慮をお願いできないかと都賀地域づくり推進課に相談に行った。その時の対応で大変不快な思いをした。</p> <p>地域まちづくり課というか、行政と自治会の在り方を、ここで何のためにこういう課があるのか説明していただきたい。災害など、いろいろなことで自治会と行政との連携というのは切っても切り離せないことと思っている。また、その後の対応の報告も受けていない。</p>	<p>大変失礼な対応になってしまったことをこの場でお詫びしたい。お話をいただいたとき、電話で、場所を確認させていただき、鹿沼街道沿いの塀で、所有者の方にやんわりとという話であったので、その時はお受けして、現場を確認した。</p> <p>その後の対応が、お話にあったように大変失礼なことになってしまい、私も深く反省し、合戦場自治会に対し失礼な行政の対応になってしまったことをお詫びしながら、今後、その件については改めて対応させていただく。今後そのようなことがないように職員にも話をしながら、情報共有をして参りたい。この場をお借りしてお詫び申し上げます。失礼いたしました。</p>	<p>【都賀地域づくり推進課】進捗・対応状況: 対応済</p> <p>ふれあいトークの翌日に、塀の所有者の方と連絡をとり、安全対策を講じていただくようお願いをいたしました。</p> <p>自治会長とも今後の対応について協議を行い、「先日、自治会からも修繕についてお願いしたので、少し様子を見る。再度お願いに行く場合には行政も一緒に行く。」ということを確認いたしました。</p> <p>なお、質問者の方に、上記の経過と今後の対応について報告したところであり、職員の接遇についても改めて反省し、今後は、市民の皆様へ寄り添った対応を心掛け、不快感を与えることのないよう取り組んでまいります。</p>

[当日参加者からの質問及び要望]

合戦場小学校体育館

No.		質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
18	参加者	<p>都賀市民盆踊り大会の運営費について、要望を含めて伺う。8月の第1週に行われているTSUGA盆は、運営費が非常に厳しい現状である。市からの補助金は十数年間40万円で、昨年は、不足を補うために廃品回収を行った。自治会からは、一戸200円、六十数万円の寄付をいただいたが、合わせて100万円程度で、非常に厳しい。少しでもいいので、補助金の増額をお願いできないか。</p>	<p>各地域で様々なイベントが開催されていて、地域の皆様が開催費用捻出のために様々な努力をされていることに対して敬意を表したい。補助金の増額については検討させていただきたいと思うが、良いお返事ができるかどうかはここでは申し上げかねる。ご理解いただきたい。(生涯学習部長)</p> <p>現在、地域まちづくり実働組織の設立準備を行っている。都賀地域で行われている様々なイベント、TSUGA盆やスポーツフェスティバル、花まつり、まるつがなどは、実行委員会を組織して各種団体の力を貸していただきながら進めているが、実働組織が立ち上がったあと、実行委員と協力しながらイベントのあり方や運営費についても検討していこうという話も出ているので、その際にはまたお話しさせていただきたい。(都賀地域づくり推進課長)</p>	<p>【公民館課】進捗・対応状況: 対応済 都賀市民盆踊り大会の運営費について、平成23年度から(平成26年度第40回記念事業除く)平成28年度まで、負担金40万円と自治会からの寄付金で運営しておりました。 さらに、今年度においては、不足を補うために、実行委員の皆様へ廃品回収をしてまで費用の捻出をしていただきました。 このように地域の皆様から応援をいただいている事業の負担金の増額について要求を続けた結果、厳しい財政状況もあり、僅かではありますが平成29年度当初予算において前年度比増額となる42万円の負担金となりました。</p> <p>【都賀地域づくり推進課】進捗・対応状況: 対応予定 都賀地域のまちづくり実働組織は3月末に設立を予定しています。今後、事業計画を策定していく中で、イベントへの関わり方なども検討していく予定です。 <input type="checkbox"/></p>
19	参加者	<p>政務活動費について質問する。政務活動費は、議員が調査研究などの活動を行うための費用であるが、最近、不適切な使われ方をしているという報道が相次いだ。市役所に開示請求をすれば、すぐに議員の活動状況を見ることができるのか。また、政務活動費が実際にどのように使われているかを調査する組織はあるのか。政務活動費が1議員当たり1年間にどれだけ交付されているのかも伺いたい。</p>	<p>政務活動費については、特に議会事務局で所管しているの、言っただけならば、見られる形になっている。金額は、月3万円、年間36万円が上限である。情報収集や視察研修の旅費など使途が限定されているので、実際には年間予算の7割前後となっている。議員は領収書を添付して議会事務局に提出し、市長も見ることになる。チェックする委員会のようなものはまだないが、議会事務局で細かくチェックを行っているので、不適切な交付は無いといえる。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
20	参加者	<p>防災ラジオの購入の件で伺う。合戦場で民生委員、ふれあい相談員をしており、一人暮らしの高齢者が購入を希望していたが、数時間で完売してしまっていて購入できなかったという話を聞いた。今回希望したが購入できなかった方が、次回、優先的に購入できるような方法はないか。</p>	<p>防災ラジオは、8月1日に販売を開始し、10日間の受付期間を設けていたが、1日の午前中には申し込みが予定数に達してしまい、大変ご迷惑をおかけして申し訳なかった。今回は先着順だったが、次回は抽選にしたいと考えている。また、できるだけ多く用意して、希望する方にはご購入いただけるようにしたい。優先的な販売に関しては、今のところ考えていないが、ご理解いただきたい。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況: 対応済 防災ラジオの追加販売につきましては、初回販売の問題点を踏まえ、先着順ではなく、申込受付期間を定め、申込件数が販売予定台数を超えた場合には、75歳以上の単身世帯や75歳以上の方のみの高齢者世帯への販売を優先して販売の募集を行いました。結果としては、申込件数が販売予定台数を超えなかったため、希望者全員に防災ラジオを販売することができました。 平成29年度の販売予定台数は未定ですが、今回の追加募集と同様の方法で市民への販売を行う予定であります。</p>
21	参加者	<p>はつらつセンター事業の委託料が、参加人数に関わらず一律であることについて伺う。人数によって金額を考慮すべきではないか。また、都賀地域内ではいくつかの団体が事業を受託しているのかもお聞きしたい。</p>	<p>はつらつセンター事業については、月4回以上行う場合は月1万円、月2回以上4回未満の場合は月5,000円の委託料を支出しております。この事業は自治会での高齢者の介護予防や生きがい作りのために行っており、現時点では、この事業を数多くの自治会で行っていただくための奨励金としての意味合いが大きいと一律となっておりますが、今後についてはご意見を参考に検討してまいります。また、受託団体数については、手元に資料がないため、後日確認してご連絡させていただきます。</p>	<p>【地域包括ケア推進課】進捗・対応状況: 一部対応 はつらつセンター事業の委託料につきましては、高齢者の介護予防や生きがいづくり活動の拠点となる場の提供に係る費用に関する金額を設定しておりますが、自治会の規模による不均衡等も考えられることから平成30年を目途に制度見直しを行うことで検討を進めております。 また、都賀地域でははつらつセンターの開設数は、平成29年2月末におきまして、13センター(13自治会)であり、そのうち2センター(2自治会)が新規開設であります。</p>